

## 大学院造形研究科 創作表現コース 修了制作評価項目及び基準

### ■修了制作

修了制作作品内容

1人につき、「作品A」と「作品B」の2作品を制作する

(作品点数は3~10点 自分の世界観を現すために必要十分な点数を考慮すること)

作品A、Bの内容は以下の通り。

作品A:

「美術造形作品」

⇒現代美術における純粹形式によるもの。

作品Bとの関連性において、個人の発想、世界観を可能な限りのあらゆる表現方法から選び、造形・表現を行う。

(ex. 絵画、写真、映像、彫刻、ファイバーアート、レディメイドを含めたインスタレーション、その他)

作品B:

「服飾造形作品」

⇒身体に装着可能な「衣服形態」のもの。

作品Aとの関連性において、形態、素材、色彩、そして記号性を含めた設計をし、造形・表現を行う。

(ex. 衣服形態の日常における機能性、役割は問わない)

作品A、Bの比率、比重はそれぞれの表現内容によって自由に選ぶこと。

### ■修了制作評価・採点方法

各展示会場に赴き、作品展示を鑑賞、作者のプレゼンテーションを受け、質疑応答の後講評、そして評価・採点行う。

評価のポイントは以下の通り。

1. 作品のコンセプトは明快か
2. 作品の表現はそのコンセプトのもとに的確に行われているか
3. 作品の展示空間はその作品の表現が的確に伝わるものとなっているか

## ■修了制作評価基準

- 優 → (100点～90点) 特に優れている  
良 → (89点～80点) 優れている  
可 → (79点～60点) 妥当と認められる  
不可 → (59点以下) 認められない

外部審査員：

1. プレゼンテーション評価 /100点
2. 作品評価 /100点
3. 展示評価 /100点

以上の平均点

内部審査員 (担当指導者)：

1. プレゼンテーション評価 /100点
2. 作品評価 /100点
3. ポートフォリオ /100点
4. 小作品集 /100点
5. 展示評価 /100点

以上の平均点

内部審査員 (担当指導者以外)：

1. 作品評価 /100点
2. 展示評価 /100点

以上の平均点

## ■質の評価基準

1. 本科修了後の進路に対する意識
2. 1. の進路を踏まえたプロフェッショナル리티の質
  - 1) 創作プロセスの質
  - 2) 創作・表現意識の明瞭性
  - 3) 創作・表現の技術・方法の適確性
  - 4) 鑑賞者の作品感受についての想定力

## ■修了制作評価基準配分

衣服造形作家としての「制作の姿勢」と「作品」そのものを評価対象とする。

修了制作の作品評価は、担当指導者のみで行われるのではなく、他の担当指導者全員で行われる。

### 作品・発表

全研究指導者による評価→ 75%

外部審査員による評価（作品評価も含む）→ 25%

理由は、外部審査員による評価を加えることにより専門家の視点という客観性を持たせた上で、この修了制作を大学院の終点として認識するのではなく、作家活動の出発点として捉えてもらうためである。

教員それぞれの評価基準とその方法は外部審査員を含めて以下の様に設定している。

課題・制作への取組の姿勢 (経緯)	40%	作品のエスキース、マテリアル・技法の研究、展示発表会場のリサーチ、作品の記録等創作の表に出て来ない基盤を固めることによる制作の姿勢を確認・分析することによる
授業内試験等、作品、レポート、プレゼンテーション(結果)	35%	①作品 ②展示 ③プレゼンテーション ④ポートフォリオ ⑤小作品集
外部専門家評価	25%	